

編集後記

本誌編集委員の黒田裕子さんが、9月24日にご逝去されました。8月末に西宮の病院に入院され、その後故郷の島根の病院に転院した矢先での訃報でした。入院した後も編集委員会の仕事を気にかけて下さっていたようで、原稿のチェックができないことを詫びていたと人づてに聞きました。

今回の特集では、過去の災害において医療や福祉の活動が、どのように人々のいのちや暮らしを支えてきたのか、そして現在の課題は何かを各方面の研究者・専門家の方々に執筆いただきました。黒田さんにはアドバイザーとして、テーマの選定をはじめ執筆者への依頼と調整など多岐にわたってお世話になりました。黒田さんの幅広い人脈があったからこそできた特集と言っても過言ではありません。

以前、第5号の編集で黒田さんの原稿のチェックを私が担当しました。そこには非常に印象的な言葉があり、その後、黒田さんにお会いする度にいつもその言葉を思い出したほどです。それは「生ききる」という言葉で、最初私は浅はかにも「入力ミス？」と思ったのですが、原稿の最後に「どんな状況下にあっても、その人はその人であるがためその人らしく生きることが出来るような支援のあり方」を追求していくとあり、多くの被災者を支援し続けた黒田さんの思いが込められた表現なのだと理解しました。今回の特集でも似田貝先生が黒田さんの「生ききる」について言及しています。

黒田さんは8月に入院される直前まで被災者支援に携わっておられました。本当に最後まで被災者に寄り添うという姿勢を貫き見事に「生ききられた」のだと思います。黒田さんのご冥福をお祈りします。

(2014年11月10日 田並尚恵)

第10号特集編集担当：田並尚恵 アドバイザー：黒田裕子

学会誌編集委員会委員名簿

委員長	北後明彦	神戸大学
副委員長	山地久美子	大阪府立大学
幹事	紅谷昇平	神戸大学
	山崎栄一	関西大学
委員	石川永子	千葉大学
	石原凌河	大阪府立大学
	大矢根淳	専修大学
	近藤誠司	関西大学
	黒田裕子	NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク
	田中正人	株式会社都市調査計画事務所
	田並尚恵	川崎医療福祉大学
	豊田利久	神戸大学名誉教授
	福留邦洋	東北工業大学

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第10号 (Vol. 6 No. 1)

2014年6月30日 発行

発行者 日本災害復興学会

事務局 〒662—8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学災害復興制度研究所 内

日本災害復興学会事務局 TEL. 0798-54-6996
